

2017/5/12

コラーゲンペプチドの膝変形性関節症への効果に関する論文 [順天堂大学との共同研究] が国際誌 (Experimental and Therapeutic Medicine) に掲載されました

コラーゲンペプチド摂取が膝変形性関節症モデルラットに与える効果を検証しました。前十字靭帯切除手術を施したラットは膝に組織学的な損傷を誘発します。同手術を施したラットにコラーゲンペプチドを摂取させると組織学的な膝状態は改善し、軟骨で特異的なII型コラーゲンの変性を示すマーカーが血中で有意に減少しました。また、II型コラーゲンの分解酵素MMP-13の発現も減少しました。

本結果より、コラーゲンペプチド摂取が膝軟骨保護に働いている可能性を示しました。

詳しい内容に関しては

<https://www.spandidos-publications.com/10.3892/etm.2017.4310?text=abstract> をご参照ください。